

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州の水でつくられた電気による「CO ₂ フリーe スポーツシンポジウム」
事業主体 (連絡先)	一般社団法人長野県eスポーツ協会 (info@nagano-esport.org)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,710,000 円 (うち支援金: 3,808,000 円)

事業内容

E スポーツイベントを信州 Green でんきを使用し開催し、低炭素電源や地産電源の活用による環境負荷軽減に向けた取組みを進めるとともに、長野県内の再エネの普及・拡大に向けた取組みを推進していく。体的には、オンライン開催するeスポーツ大会及び南石堂町商店街にて開催予定のeスポーツ大会は水力発電所などを由来とした環境に優しい電気「信州 Green でんき」長野県内の再生可能エネルギーを使用していることのPRを複数回スポットで流す、また会場にて「信州 Green でんき」を紹介するブースを設置することによって地域住民が率先して2050ゼロカーボンへの取組みを行えるようにPRする。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①若者に人気があるeスポーツを通じて、2050ゼロカーボンがどのような取組みなのか、どうして持続可能なエネルギーや社会を目指さなければならないのかなど、これからを担う若者に対してPRできると同時に初めて知ってもらう機会になった。

参加者及び視聴者においてゼロカーボンの認知度 60%→92%

②長野県松本地域において、曖昧な層(アマチュア)に対して複数回大会を開催することによって、よりeスポーツに興味を持ってもらえた。また、eスポーツを体験してもらうことで一昨年(同会場)開催した別イベントより参加人数が、

(今回: 前回=235名: 206名) 14%増加した。

今後の取組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

まだまだ若者に対して、2050ゼロカーボンへの認知が少ないと思われる。そのため、eスポーツを通じて継続的にPRを行い、まず言葉だけでも覚えてもらえるように活動を続けていく。また、より一層地域住民(特に若者)を巻き込んで周知活動を行う方法として、(今回は松本工業高校の生徒とオンラインイベントと松本市の信毎メディガーデンにてPRした)松本地域の他高校や大学と連携した取組み(文化祭等などでPR)が行えばとより周知できると思われる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【11/20の様子】

【目標・ねらい】

- ① 若者へ2050ゼロカーボン周知
- ② 地域のeスポーツ普及

※自己評価【B】

【理由】

ゼロカーボンへの周知に一定の効果があつた。11/20のメイン事業に置いてコロナ感染対策を徹底して行うため入場制限を実施した。